

蠟梅 Now

厳冬の季節、多くの木々は冬芽も硬く、寒さに耐えながら春の到来を待っている。そんな中、いち早く花を開き初春を彩るのは、「雪中四友」と呼ばれる玉椿、蠟梅、水仙、山茶花である。

当法人のシンボルツリー「蠟梅」は、厳密に言えば、変種にあたる「素心蠟梅」であることがわかった。花が蠟梅より大きく、花びらもやや広く、

先は少し丸みがある。内側も外側もすべて黄色なのが特長で、開花は2～3月とやや遅く、香りも強い。12月に入ってから、すっかり落葉した枝に蕾をつけ始め、その数は昨シーズンよりかなり多い。間もなく枝一杯に艶のある黄色の花を開き、芳香が漂う。雪があれば、青空をバックにしたみごとなコントラストで、一幅の佳景ができあがるのだが……。時節の到来を心待ちにしている。

芥川龍之介の句に「蠟梅や 雪うち透かす 枝の丈」というのがある。蠟梅が花をつけるとき葉は出ていない。

無造作に伸びる枝の交差に引かれて視線は上を向く。すると、彼方の雪景色が目に入るのである。今年の冬はことのほか寒いと言われており、龍之介が謳う雪中の光景を目にすることができるともかもしれない。



蕾が膨らんできた蠟梅（12月27日）



1月23日、
昨年より一ヶ月早く開花が始まった

《発行者》

発行：特定非営利活動法人 未来技術フォーラム神戸 事務局長 大森 信
〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町 4-2-7
TEL & FAX：050-2014-2293 (IP Phone)
URL：http://www.npo-ftfk.or.jp E-mail：info@npo-ftfk.or.jp